

1 この科目の構成について

教 科	芸術科	科 目	デザイン	単 位	1 単位
対象コース	美術コース	対象クラス	1 年 7 組		
使用教科書	美術 I（日本文教出版）				
使用副教材					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
デザインは用途があって制作されるもので、グラフィック、プロダクト、インテリア、建築、映像など多岐な分野に渡る。 1 年次ではデザインの考え方を学び、デザイン実習の基本要素として最低限必要な課題の実習を目標とする。またコンピューターグラフィックスの基本操作も実習する。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
平面構成はデザイン実習の基本となる課題で、1 は色彩論を応用した配色研究。2 は言葉のイメージを視覚的に表現する平面構成である。 コンピューターグラフィックスはフォトショップの基本操作を学ぶが、単にその技術を習得する時間ではなく、デザインの様々な課題の中に組み入れて実習される。 1 月に CG で制作する作品は、情報を第三者に分かりやすく印象的に伝えるためのデザインの課題。	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
(1) 学校 主に授業時間内で実習し、放課後等、課外時間も有効に使って学習する。 (2) 家庭 家庭で制作する課題は夏期休業と冬季休業に出題される、コンクールに向けたポスター制作の課題。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何を使って評価するのか—
完成した作品によって評価する。 技術的、創造的に優れた作品を評価する他、完成するまでの課程、取り組みの姿勢を見る。 各自の力量に合わせた努力度、熱心さ等を加味し、平常点として評価に加える。	
評価における定期考査の割合	
0%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度 課題に取り組む意欲、態度 (2) 思考・判断 課題を理解し、目的を持って思考する力、アイデア (3) 技能・表現 構成力、色彩感覚、表現力、描写力 (4) 知識・理解 コンピューターグラフィックスの知識と理解	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
1	5	「コンクールポスター１」		「ポスターコンクール応募」 連休中の自宅課題約 コンクールに出品する作品を制作する家庭課題 「暴力団追放」「防犯ポスター」「八戸市景観賞ポスター」 以上から一つを選んで制作し出品する ※画材、用紙のサイズは各コンクールの規定にあわせる。 道徳教育を実施				●	●	●	●
1	5 ～ 7	「平面構成１・色彩演習」		「平面構成１・色彩演習」 B３ケント紙にアクリルガッシュ 12 時間 配色を検討する段階ではCGを使用 4月から5月にかけて学習した色彩論を確認し、応用した課題。 コンピューターグラフィックスの基本操作も学ぶ。 平面構成の基礎課題。 以下の条件で配色を決めて制作 A＝色相が対照的／B＝色相が類似 C＝明度が対照的／D＝彩度が対照的 E＝寒色／F＝暖色 G＝トーンを類似させ、色相に変化をつける H＝トーンに変化をつけ、色相を類似 評価のポイント 条件を満たした配色であること G・Hは条件内でより美しい配色であること 作図が正確で仕上げがきれいであること				●	●	●	●
2	8	「コンクールポスター２」		「ポスターコンクール応募」 夏季休みの自宅課題約 コンクールに出品する作品を制作する家庭課題 「緑化運動」「防火運動」「薬物禁止運動」「明るい選挙」 以上から一つを選んで制作し出品する ※画材、用紙のサイズは各コンクールの規定にあわせる。 道徳教育を実施 「モチーフ構成（アルファベットをモチーフとする）」 B３ケント紙にアクリルガッシュ 18時間				●	●	●	●
1	7 ～ 8	「エディトリアルデザイン」		夏期ゼミ課題 「雑誌のページを想定したレイアウトデザインの制作」 20 時間 A３サイズ、横、CG タウン誌のような、身近な所を紹介する雑誌を想定し、テーマをみつけ、資料を集める。 地図、施設案内図をデザインする。 資料を基にして、視覚的に美しく、読みとりやすくデザインされた雑誌ページを制作する。 魅力的な情報が盛り込まれており、 より分かりやすく、興味を引くデザインを目指す。 完成後プレゼンテーションを行う。				●	●	●	●

2	12 ～ 1	「平面構成 2・色と形の効果」	「モチーフ構成（アルファベットをモチーフとする）」 B3ケント紙にアクリルガッシュ 14 時間 配色を検討する段階ではCGを使用 平面構成の応用課題。 与えられた条件の理解。 コンピューターグラフィックスを効果的に使用しながら、色と形の 構成により如何に言葉のイメージが伝わるのか模索していく。 与えられた条件の理解。	●	●	●	●